

令和7年度鳥取県中学生バドミントンサーキット実施要項

1 主 催 鳥取県バドミントン協会

2 趣 旨 厳しい競争の中から、県内中学生選手のレベルアップを図ることを目的とする。

3 会場、開催期日、申込締切日

会 場	開 催 期 日	申 込 締 切 日
第26回北条体育館	令和7年6月22日(日)	令和7年6月13日(金)
第26回北条体育館	令和7年8月9日(土)	令和7年8月1日(金)
第27回北条体育館	令和7年9月6日(土)	令和7年8月29日(金)
第28回北条体育館	令和7年11月1日(土)	令和7年10月24日(金)
第29回北条体育館	令和7年12月13(土)	令和7年12月5日(金)

※ 9時集合、9時30分開会式、9時45分競技開始とする。

4 実施種目 男女別シングルス各18名程度とする。

5 競技規則(公財)日本バドミントン協会令和7年度競技規則並びに同大会運営規程による。

6 使用球は県協会強化本部が一括準備する。

7 参加資格

「自らの競技力向上に意欲があり、チャレンジ精神をもって本大会で競っていける選手。」

※第26回から1年生(経験者)も対象とする。

※第27回以降も3年生を対象に入れる。過去出場者への声かけをお願いします。

※参加資格を満たしていれば、中学校でバドミントンを始めた2年生も対象とする。

8 実施方法

(1) 毎回参加選手の中から主催者にて決定したランキング順に3名ずつのグループに分けリーグ戦を行った後、その結果により3名ずつのグループに分けリーグ戦を再度行う。

(2) 2回目のリーグ編成は、1回目の各グループ1位が上位リーグへ、3位が下位リーグに進む。ただし、最上位リーグの1位若しくはスパーリングコーチと最下位リーグの3位は除く

(3) 2回目のグループゲーム終了後、ランキングを決定する。

(4) 男女最上位グループにはスパーリングコーチを可能な限り配置する。

(5) 選手の入替

① 入れ替えは毎回行い、申し込み状況により県協会強化本部が判断する。応募多数のため出場でき

ない場合は、開催期日１週間前を目途に申込責任者にその旨を通知する。

② 欠員が生じた時は県協会強化本部において推薦、出場を要請する場合もある。

(6) 欠場、途中棄権選手の処置について

① 欠場の場合は、ランキングから除外する。

② 途中棄権の場合は、既に行った試合も無効とし、グループ内の最下位（他の２名の成績に反映させない）とする。

9 参加料 2,500 円（シャトル代を含む）

(1) 複数選手を出場させる家庭を対象に、２人目以降を半額とする。

(2) 参加料は試合当日の朝、受付に納入のこと。

10 申込方法

(1) 所定の申込書で下記に申し込むこと。

r.makiura@yurihamagakuen.ac.jp 榎浦 龍

(2) 各中学校には第 26 回から第 29 回まで、それぞれ開催日 2 週間前を目途に県協会強化本部から案内を送付するので、その指示に従ってその都度申し込みを行うこと。

(3) 各クラブチームは、鳥取県バドミントン協会 HP 内の強化本部が掲載する県中サーキット大会用申込書（Excel）で申込締め切りまでにメールで送付すること。

湯梨浜学園中学校 榎浦 龍 電話番号：(0858)48-6810

(4) 申込が多数で運営が難しく参加を断らなければならなくなった場合は、各チーム代表者にその旨を連絡する。※連絡がない場合は参加とする。

(5) 参加申込後、急病やけが等により参加が不可能になった場合は、保護者が電話連絡をすること。

11 その他

(1) 試合の服装は、白または（公財）日本バドミントン協会審査合格品とし、上着背面中央に学校名・選手名を単一色で分かりやすい文字で表示すること。文字列各行の大きさは、高さ 6 ～ 10 c m 幅 30 c m 以内とする。県協会の規定に準拠したゼッケンを使用してもよい。ゼッケンを使用する場合は 4 隅を留めること。

(2) 体育館内で出したゴミ等は、各自責任を持って必ず持ち帰ること。

(3) 選手の引率は、原則として保護者とする。※監督、コーチのサイドコーチはなしとする。

(4) ランキング結果は県協会 HP に掲載する。

(5) 当日は選手のためのスポーツ障害保険に本部で加入する（体育館と自宅との移動含む）

(6) 県外遠征などの機会があったときは、上位の選手から選抜する。

(7) サーキット結果及び会場で撮影された映像・写真は報道等を目的に本協会ホームページに使用される場合がありますので、ご了承の上、参加をお願いします。